

## 第3期守口市地球温暖化対策実行計画の実施状況等について

### 1. 2020年度のエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量

#### (1) 温室効果ガス総排出量

- ◆温室効果ガス総排出量は13,229 t-CO<sub>2</sub>であり、基準年度（2013年度）と比較すると20%（3,405 t-CO<sub>2</sub>）の削減。
- ◆前年度と比較すると6.4%（796 t-CO<sub>2</sub>）の増加。

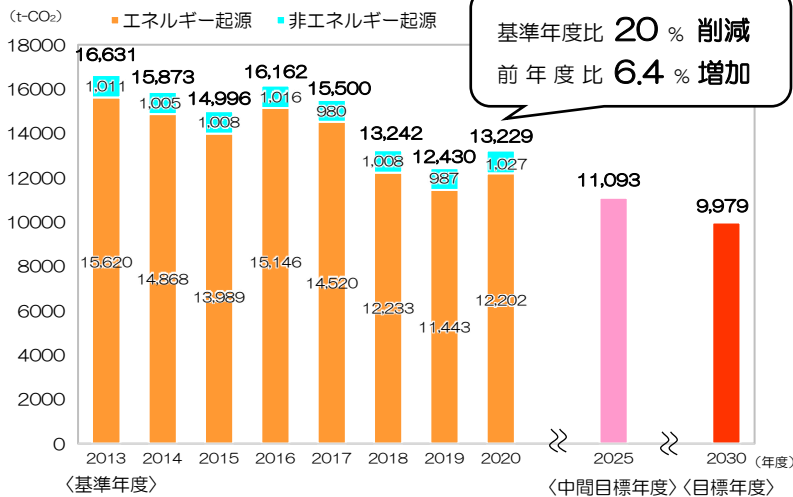


図1 温室効果ガス総排出量の推移

#### (2) エネルギー起源温室効果ガス排出量

- ◆排出量は、電気・都市ガスによるものが97%以上を占め、前年度比6.6%増加。主な原因は、新型コロナウイルス感染防止対策の実施及び市立図書館の新設\*に伴う都市ガスの使用量の増加（図2）。
- ◆電気の使用量は、前年度比1.5%減少したが、排出係数の大きい事業者と購入契約を行ったため、排出量が増加（図3）。今後、排出量を削減するためには、環境負荷を考慮した電力の調達が重要。

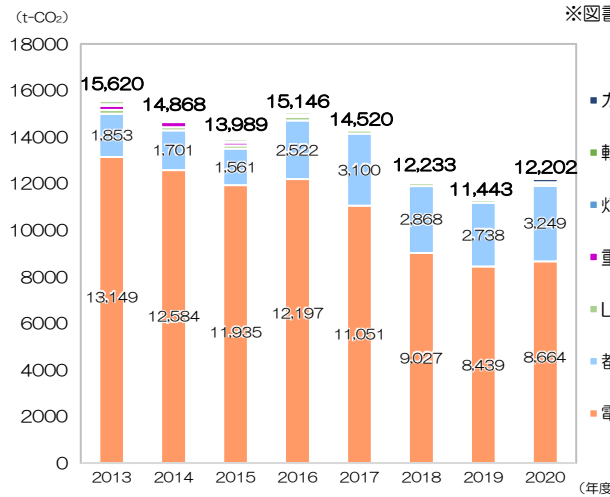


図2 エネルギー起源温室効果ガス排出量の推移

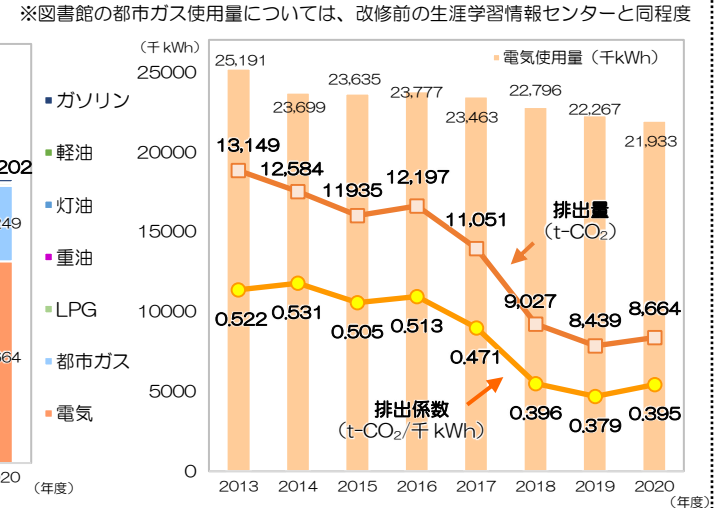


図3 電気使用量・排出係数の推移

### 2. 2021年度の取組

#### (1) 2021年度の新規取組

- ◆各所属長及び温暖化対策推進員対象の説明会実施
- ◆採用1、2年目職員対象の研修会実施
- ◆市立図書館の省エネ診断実施  
(大阪府環境農林水産総合研究所が実施)
- ◆環境省・経済産業省等の省エネ・温暖化関係の補助金や施策等の情報提供
- ◆緑のカーテンづくり（ゴーヤの種の提供）  
(児童センター、守口小学校で実施)

#### (2) 各課の取組実施状況調査の結果（2022年2月実施）

- ◆前回（2021年3月実施）と比較すると、エコドライブの実施や委託業者等への取組の指示等は増加
- ◆コロナ対策等の影響により、ノー残業デーの励行の実施は減少

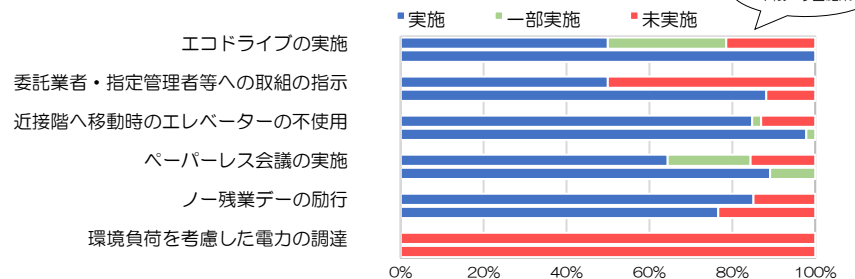


図4 取組実施状況調査の結果（前回との比較） ※一部抜粋

### 3. 2022年度の取組予定

- ◆市立図書館省エネ診断結果に基づく設備改修等の提案、取組の展開
- ◆省エネ診断希望施設の募集
- ◆電気自動車及び充電設備の導入
- ◆グリーン契約、グリーン購入に係る指針の策定
- ◆新任温暖化対策推進員対象の研修会実施
- ◆新規採用職員対象の研修会実施

皆様のご協力をお願いいたします

